

令和4年3月1日

お客様各位

沼津信用金庫

「第7回 沼津信用金庫 地域防災企画展」の実施について

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から11年が経過します。

昨年行われた東京オリンピック・パラリンピックは復興オリンピック・パラリンピックと位置付けられ、福島県では野球・ソフトボールが、宮城県ではサッカーがそれぞれ行われ、被災地が復興を成し遂げつつある姿が世界に向けて発信されました。

しかしながら復興は道半ばであり、特に地震・津波・原子力の複合災害に見舞われた福島県においては、いまだ3万5千人の方が避難生活を余儀なくされております。(令和3年11月現在 復興庁資料)

令和3年を振り返りますと、7月の集中豪雨により発生した熱海市の土石流災害をはじめ、日本国内や世界各地で様々な災害が発生し、多くの方々が被災されました。

被災された方々に改めてお見舞いを申し上げますとともに、これからの地域社会の発展を心よりお祈り申し上げます。

今年の防災企画展では、“東北復興の歩み”そして“みなさまへのエール(絆)”と題し、伊豆の国市を拠点とするボランティア団体 YAMANNEKO 楽舎様のご協力により、令和4年1月の福島県の現状を記録した写真や資料、約17年ぶりに改定された富士山ハザードマップ等を、本店・大岡支店・間門支店・裾野中央支店および上町支店に展示いたします。

当地域においても、今後、南海トラフ地震や富士山噴火の発生が想定されており、私たちは常に災害に直面するリスクと課題を抱えております。

みなさまにおかれましては、この機会に、災害を過去の出来事として風化させることなく、次の災害への「防災」「減災」対策を考えるきっかけとしていただければ幸いです。